



## 地域学校協働防災学習にご参加ください!!!

昨年度からスタートした地域と学校が協働した防災学習。子どもたちにとっても、地域の皆さんとともに自分の住んでいる地域について、危険個所を話したり、まさかの時にどのように行動すればよいかイメージできたりしたことは、とても有意義だったようで、昨年度の振り返りでは、毎年実施してほしいとの依頼があったほどでした。ということで、今年度も9月1日の防災の日に合わせて、9月2日(月)の午前中に楳葉小学校で実施いたします。保護者や地域の皆さんでご参加いただける場合は、10時に楳葉小学校にお集まりください!!! 内容は、全員で津波についての震災講話を子どもたちとともに聞いた後、お住いのエリアごとに分かれ、そこに住む小中学生と話をします。準備等はありません。子どもたちにとって、自分の住むエリアに住む大人とつながることは、有事の際に大変重要となってきますので、ぜひ、積極的なご参加をお願いいたします。



行政区など、自分の家の周りの地図を見ながら、地域の皆さんと子どもたちが話し合います。

## 第2期目の教育トークを開催します!!!

楳葉町の教育の特徴ともなってきてている子どもからお年寄りまで、様々な立場の人たちが輪となって教育について語り合う教育トーク。何かについて話し合って解決策を見つけるのではなく、日頃、教育について感じていることや思っていることを通して、「語り合う」文化をつくっていこうというものです。昨年度は町長を含め、のべ60人を超える町民の皆さんに参加していただきました。今年はさらに参加者を広げていきたいという想いから、次回の会場は「みんなの交流館 ならば CANvas」にすることとなりました。日時は9月25日(水)の17時30分から19時までとなります。飲み物や軽食も用意しております。お子様連れでも可能ですので、ぜひ、お気軽にご参加ください!!!



昨年度の参加者の皆さん。小中学生が大活躍でした!!!



# 東京で最先端の防災・減災教育を受け、 鎌倉では同世代の仲間と防災運動会を実施!!!

昨年度の陸前高田での震災伝承・防災学習に引き続き、今年度は2泊3日で小学生25名が、防災に関する協定を結んだ神奈川県鎌倉市的小坂小学校の児童と防災についての学習と防災運動会に参加しました!!! 2日目の防災講話では鎌倉市で消防署の所長もされていた郷原さんという防災のプロに津波や土砂崩れの危険性について学び、檜葉町と鎌倉との共通点についても、子どもたちは気づいたようでした。その後は鎌倉の子どもたちとグループを組んで、5つの競技に挑戦!!! 迅速に正しく被害状況や助けを求めるための災害伝言ゲーム、チームワーク良く水を運ぶ防災型バケツリレー、そして非常食作りなどなど。はじめて出会ったのに、日ごろから地域の皆さんとよく活動している檜葉の子どもたちは、すぐに鎌倉の子どもたちと仲良くなっていました。

3日目は国立の防災学習施設である東京有明のそなエリア東京で学習。全員が一台ずつタブレットをもって、被災した市街地でミッションをクリアしていくという体験型の最先端の学習。タイムリミットがある中で判断を迫られる場面もあり、真剣な表情で取り組んでいました。



鎌倉の小学生と協力して、アイディアを出し合います

被災した町を舞台にして、3日間生き抜く術を学びます

## 子どもたちの感想から

- ・小坂小学校の仲間と防災運動会で協力してきました。こういうチームワークが震災の時に大切なのだと感じました。もし、関東に地震がきたら、鎌倉の人々に檜葉に避難してもらって、助け合いたいと思いました。
- ・鎌倉の小学生の発表では、みんなが自分の防災の知識を活かしていて、すごいと思いました。私の知らないこともあったし、これからはそういう姿を目標にして、日頃から防災の意識を高くもちたいと思いました。
- ・防災伝言ゲームでは、「人に伝えることってこんなに難しいんだ」と知ることができて良かったです。
- ・関東に住む友だちができてうれしかったし、困ったときにはお互いに助け合うのだということを知った。
- ・小坂小学校の人たちは防災意識が高かったので、檜葉の防災意識も高めていきたいです。また、防災運動会の「〇〇のときに何を持っていったらいいか」という防災クイズも檜葉でやって、災害の被害を減らしたいです。
- ・そなエリアではいろいろなことを体験して、「もし自分だったら」と考えることができました。お父さんとお母さんは3.11の時に地震でとても怖い思いをしたのだということが分かりました。
- ・タブレットを使ったシミュレーションでは、建物があんなことになるなんて予想していなかったので、家具を固定するなどの対策しておくことの必要性を感じました。映画では、大きな地震があった時、避難中は家族と連絡が取れないこともあるということが分かったので、色々人と協力することが大切なのだと知りました。
- ・3日間生き残ることは簡単だと思ってたけど、実際はすごく大変で難しいことなのだと実感しました。はちみつなどの長期保存できて、甘いものを備えておくとよいというのが意外でした。
- ・マグニチュード8.0では高いビルなども崩れてしまい、町がめちゃくちゃになってしまいうことが分かって怖かったです。地震だけでなく、その後に火事が起こることも分かったし、避難所では骨折したらビニル袋などの身近な物を使えば固定できることも知りました

【お問合せ先】 檜葉町地域学校協働センター（檜葉小学校1階） 猿渡・渡部

（直通）070-7421-5156 （教育委員会）0240-23-5515 kyoudou-n@town.naraha.lg.jp